

別添3

平成 31（2019）年度スケトウダラ日本海北部系群の 管理基準値等に関する研究機関会議提案

国立研究開発法人 水産研究・教育機構並びに、共同実施機関は、平成 31（2019）年度スケトウダラ日本海北部系群の管理基準値等に関する研究機関会議において、平成 31 年度資源評価に必要な科学的パラメータについて議論し、以下の点を提案する。

管理基準値

- ・ 目標管理基準値は、SB msy で 382 千トン
- ・ 限界管理基準値は、SB0.6 msy で 171 千トン
- ・ 禁漁水準は、SB0.1 msy で 25 千トン

チューニングパラメータ β

- ・ 本系群における資源の回復速度は遅く、10 年以内に目標管理基準へ回復する確率は β を 0 とした場合でも約 14%である。

その他

- ・ 再生産関係のパラメータ推定に使用するデータは、平成 30（2018）年度本系群の資源評価で推定された 1980～2015 年級群の加入量および親魚量を用いた。
- ・ ただし、再生産に関する本系群のデータは大半が資源減少期のものであるため、今後資源増加期のデータが追加されることで再生産曲線の式が変化する点に注意が必要である。
- ・ 限界管理基準値への回復確率は、 β が 0.7 以下の場合において 2030 年漁期に 50%を上回る。